

「木づかい運動感謝状」の受章について ～木づかい運動推進部門で農林水産大臣感謝状を受章～

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、このたび、財団法人日本木材総合情報センター(理事長:伊藤威彦)から、国産材の利用促進に貢献したとして、「木づかい運動感謝状」を受章しました。
2. 「木づかい運動」とは、京都議定書で定められた二酸化炭素の排出量削減目標を達成するため、林野庁が推進する国産材利用拡大に向けた普及啓発活動のことです。今回の施策は、その一翼を担う日本木材総合情報センターの主催により、「木づかい運動」の意義などを積極的に紹介した事業者等に対して感謝状を贈呈するものです。
3. 今回、当社が受章したのは、「木づかい運動感謝状」の中でも最上位にあたる「農林水産大臣感謝状(木づかい運動推進部門)」で、贈呈式は、昨3月4日、全国都市会館(東京都千代田区)で行われました。
4. 今回の受章は、「3.9ペーパー(注)」の仕組みを当社印刷物の一部(年間約100トン)に利用していることが高く評価されたものです。この仕組みの導入により、当社が取り組んでいる森林整備活動で発生する約100トンの国産間伐材が、製紙原料として活用されています。
(注)「3.9ペーパー」とは、印刷用紙への国産間伐材の利用を促す仕組みであり、林野庁が推進する「木づかい運動」のロゴマークである「サンキューグリーンスタイルマーク」の使用が認められている。
5. 当社は、今後とも「3.9ペーパー」の活用等を通じ、二酸化炭素の吸収源となる国産材の復興を図る「木づかい運動」に貢献してまいります。

以上

● 【参考資料】



林野庁 島田泰助次長(左)から感謝状を授与される当社 松下社長(右)